

小4 国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 73.1%

ねらい：漢字の読み書きが正しくできるかを問う。

分析と対策：「浅」と「残」や「録」と「緑」など、形の似ている漢字に注意して正しく使い分けましょう。また、点やはね、はらいなど、こまかいところも、正確にしていねいに書きましょう。

2 音読み・訓読み 57.5%

ねらい：漢字の音読み・訓読みについての知識を問う。

分析と対策：漢字には音読みと訓読みがあることを理解した上で、使われ方によって正しく漢字を読み分けることが大切です。また、同音異義語の問題などでも、訓読みを知っていると手がかかりになりますから、新しく出てきた漢字は音訓をセットで覚えるとよいでしょう。(3)「根本」や「色紙」のように、読み方で意味が変わる言葉にも注意しましょう。

3 送りがな 82.5%

ねらい：漢字の正しい送りがなについての知識を問う。

分析と対策：漢字を訓読みにする場合は、送りがなの部分も正確に覚えておくようにしましょう。「苦しい」と「苦い」のように、送り仮名によって読み方が変わる場合もあるので、十分注意が必要です。また、「新しい」「美しい」のように「しい」がつくものなど、一定の決まりがあるものはセットで覚えておきましょう。

4 物語の読みとり 67.5%

ねらい：登場人物の行動や言葉から、心情や行動の理由をとらえる力を問う。

分析と対策：前半はクロを飼いたい「ぼく」と、反対するママとのやりとり、後半はクロの元の飼い主が見つかり、引き取られる場面が描かれています。クロに対する「ぼく」の思いがどのように変化していくかを、言葉や行動からいねいに読み取っていきましょう。特に、(7)「ぼく」の気持ちを読みとく、重要な問題です。クロを飼ってはいけなかったと言ったママに反発していた「ぼく」ですが、クロとの再会を喜ぶ元の飼い主の様子を見て、気持ちが変化していることをとらえましょう。

5 説明文の読みとり 62.5%

ねらい：筆者の考え方や思いをとらえ、文章の主題を読み取る力を問う。

分析と対策：今回の文章は、説明文の中でも、筆者の思いが強く表れた随筆に近いものです。とぼしい栄養で力強く育っていく屋久杉と、それを材として使っていた古くからの人々に対して、筆者がどのような思いを抱いているのかを、文章全体から読み取っていくことが求められます。これをとらえることができれば、(6)で出題されている「その人」の言葉になぜ筆者が感銘を受けたかも、理解しやすくなるでしょう。

全体の平均点は67.4点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。